

第7回ボノロンの森環境活動に参加しました！

株式会社セブン銀行

2014/11/17

セブン&アイ HLDGS.

CSR アクション

セブン銀行では、自然をいつくしむ心の醸成を目的に2008年から毎年、富士山の麓の森で「自然体験プログラム」と「清掃活動」を従業員とその家族で行っています。今年は9月27日(土)に青木ヶ原樹海で「森林ウォーク」を行い、その後、近隣の県有林で清掃活動を行いました。

午前は、ネイチャーガイドさんと一緒に森を歩き、美しい森に魅了されました。午後の清掃活動は、一見すると生き物豊かな、とても美しい森なのですが、葉っぱの下にはゴミがいっぱいあり、拾っても拾っても出てくるゴミに悲しくなりました。このゴミでいっぱいの森を午前中散策したような美しい森に戻して、未来の人へ引き継がなくてはならないと強く感じました。



セブン銀行
リテール営業部 大井翔平

〔樹海での森林ウォーク〕



活動をした山梨県富士河口湖町にある「青木ヶ原樹海」は、1000年以上前の富士山噴火で溶岩が流れた場所に形成された森です。樹海の中には、噴火の際に作られた火山洞窟がたくさんあります。青木ヶ原は溶岩の上でできたため、土がほとんどなく、樹木は根を地中に十分にのぼすことができません。地表にのびた根は、岩をおおうコケ植物などから水分をえています。とても神秘的な森でした。ネイチャーガイドさんに、色々教えてもらいながら森を散策しました。



〔清掃活動〕

富士宮市と鳴沢村をつなぐ県道71号線の道脇にある県有林を清掃しました。

ポイ捨てされたビン・缶や、不法投棄された資材など多種多様なゴミを回収しました。

地面はたくさんの落ち葉に覆われていたのですが、葉を払いのけると、ゴミが次々に見つかり、集めたゴミの中にはボーリングのピンなどもありました。



◆回収したゴミの量◆ 410kg

「環境NPO団体応援クリック募金」贈呈式のご報告

6月の環境月間に行った「環境NPO団体応援クリック募金」の寄付金301,000円の贈呈式を、「ボノロンの森環境活動」の中で実施しました。それぞれ150,500円の寄付金の目録をNPO法人ホールアース研究所（代表理事：山崎 宏様）及びNPO法人富士山クラブ（理事長：奥島 孝康様）にお渡ししました。



（右）NPO法人ホールアース研究所 代表理事 山崎 宏様
（左）株式会社セブン銀行 取締役専務執行役員 舟竹 泰昭



（右）NPO法人富士山クラブ 理事・事務局長 青木 直子様
（左）株式会社セブン銀行 取締役常務執行役員 石黒 和彦